

## 東京弁護士会知的財産権法部関連掲載一覧（平成19年6月～平成29年10月）

通算	著者	論題	年月	巻号	頁
第1回	弁護士 中村閑	数値限定発明と均等論	平成19年6月	60 6	50
第2回	弁護士 森岡誠	サポート要件をめぐる近時の裁判例	平成19年7月	60 7	72
第3回	弁護士 岩原将文	間接侵害における『発明による課題の解決に不可欠なもの』および『方法の使用に用いる物』の意義	平成19年8月	60 8	22
第4回	弁護士 奥村直樹	専用実施権設定後の特許権者による差止請求権	平成19年9月	60 9	17
第5回	弁護士 町田健一	先使用による通常実施権が認められる事業の目的の範囲	平成19年10月	60 10	55
第6回	弁護士 川田篤	特許無効審決中の訂正請求に係る判断とみなし取下げとの関係	平成19年11月	60 11	24
第7回	弁護士 磯田直也	特許法102条1項に基づく損害主張	平成19年12月	60 12	122
第8回	弁護士 高橋元弘	特許法102条2項・3項に基づく損害賠償をめぐる近時裁判例の検討	平成20年1月	61 1	43
第9回	弁護士 市川佐知子	部分意匠と損害額算定における寄与度	平成20年2月	61 2	56
第10回	弁護士 井上義隆	進歩性判断の手法 —知財高裁と特許庁の判断が分かれた最近の事例の分析を通じて—	平成20年3月	61 3	24
第11回	会員 水野敦	発明の進歩性	平成20年4月	61 4	68
第12回	会員 石関浩子	ビジネス関連発明における進歩性の検討	平成20年5月	61 5	60
第13回	会員 館秀典	数値限定発明の進歩性、特に臨界的意義の要否	平成20年6月	61 6	95
第14回	会員 青山耕三	分割出願における実体的要件	平成20年7月	61 7	90
第15回	弁護士 山田徹	技術的範囲の解釈における発明の詳細な説明の記載の位置づけ	平成20年8月	61 8	91
第16回	弁護士 今井優仁	ライセンス契約における最高製造・販売数量制限条項が、独占禁止法に違反するものであるとはいえず、無効とはならないとされた事例	平成20年9月	61 9	77
第17回	会員 加藤志麻子	化学分野の発明における進歩性の考え方 —作用・効果の予測性等の観点から—	平成20年10月	61 10	86
第18回	会員 石川洋一	特許法29条の2の発明の同一性判断における技術常識の参酌	平成20年11月	61 11	22
第19回	弁護士 大江修子	著作権の間接侵害 選撮見録事件控訴審判決	平成20年12月	61 12	41
第20回	弁護士 林いづみ 弁護士 川田篤	新たな生産と修理と—消尽の日米独比較—	平成21年1月	62 1	58
第21回	弁護士 板井典子	先使用権の要件である「事業の準備」の認定 —分歧鎖アミノ酸含有医薬用顆粒製剤事件—	平成21年2月	62 2	57
第22回	弁護士 牧野知彦	勤務規則等において、相当の対価につき分割支払の定めがある場合の消滅時効の起算点が判断された事例	平成21年3月	62 3	71
第23回	弁護士 美勢克彦	特許法36条のいわゆるサポート要件について—液体燃料燃焼装置事件（最判 S39.8.4）を題材として—	平成21年4月	62 5	65
第24回	学習院大学 法学部 教授 横山久芳	著作権の制限とフェアユースについて	平成21年5月	62 6	48
第25回	弁護士 鹿野真美	いわゆる「技術的形態除外説」と不正競争防止法第2条1項1号	平成21年6月	62 7	42
第26回	弁護士 松田俊治	複数主体が関与する物の発明について特許権の侵害を肯定した事例—（H O Y A 事件）を題材にして—	平成21年7月	62 8	58
第27回	会員・弁護士 下田憲雅	特許法における「発明者（共同発明者）」の意義	平成21年8月	62 9	101
第28回	会員・弁護士 金井重彦	最近の著作権をめぐる法律問題	平成21年9月	62 10	129
第29回	弁護士 早川篤志	日本国内の放送番組をインターネットを經由して海外で視聴できるサービスが著作権侵害となるかについて判断された事例	平成21年10月	62 11	120
第30回	弁護士 吉原省三	知的財産権訴訟の国際裁判管轄と準拠法	平成21年11月	62 12	114
第31回	会員・弁護士 牧野利秋	商標の類否判断の要件事実	平成21年12月	62 13	66
第32回	弁護士 服部謙太郎	J P ドメイン紛争において、申立人の有する商標権が著名であるからといって直ちに商標権者を保護すべきではないとした裁定例	平成22年1月	63 1	58
第33回	特許庁 審判部 審判企画室 室長 佐藤智康	審判制度の概要と最近の動向	平成22年2月	63 3	93
第34回	弁護士 秋山佳胤	自己の氏名を不正の目的でなく使用（不競法19条1項2号）（大阪地判平21.7.23）について	平成22年4月	63 6	53
第35回	弁護士 小池豊	特許法104条の3の現状と今後の運用に関する私見	平成22年6月	63 8	105

第36回	弁護士 古城春実	税関における特許侵害品輸入差止…BBS 事件最高裁判決と最近の税関実務	平成22年7月	63	9	69
第37回	弁護士 森修一郎	均等論の要件「特許発明の本質的部分」について、中空ゴルフクラブヘッド事件を題材に	平成22年8月	63	10	74
第38回	会員・弁護士 小山隆史	我が国の経済連携協定(EPA)における知的財産分野の合意	平成22年9月	63	11	78
第39回	外務省経済局知的財産室 伏見邦彦	知的財産を巡る国際的な議論～先鋭化する南北問題	平成22年11月	63	13	55
第40回	弁護士 齊藤博	デジタルネットを介しての著作物の利用と著作権の処理	平成22年12月	63	14	48
第41回	会員・弁護士 堀籠佳典	特許出願中の発明を対象とする実施許諾契約と特許請求の範囲を減縮する補正	平成23年1月	64	1	64
第42回	弁護士 今井優仁 会員・弁護士 高見憲	最新特許権侵害判決紹介	平成23年3月	64	3	32
第43回	会員・弁護士 川田篤 弁護士 井上義隆	平成22年における特許審決取消訴訟の概況	平成23年3月	64	3	44
第44回	会員・弁護士 松永章吾 弁護士 日野英一郎	平成22年商標・不正競争関係事件の判決の概観	平成23年4月	64	6	38
第45回	弁護士 高瀬亜富	平成22年著作権関係裁判例紹介	平成23年6月	64	8	56
第46回	弁護士 飯塚卓也	職務発明にかかわる未解決の問題点	平成23年7月	64	9	67
第47回	神奈川大学准教授 奥邨弘司	まねきTV・ロクラクII事件最判後の著作権の間接侵害論	平成23年8月	64	11	89
第48回	元知財高裁判事・弁護士 三村量一	差止対象の特定、発明の本質的部分、意識的除外	平成23年10月	64	13	79
第49回	知的財産高等裁判所 第3部部総括判事 飯村敏明	発明の要旨の認定と技術的範囲の解釈、さらに均等論の活用	平成23年11月	64	14	57
第50回	知的財産高等裁判所 第2部部総括判事 塩月秀平	審決取消訴訟における審理の範囲	平成23年12月	64	15	120
第51回	徳島地裁・家裁所長(前知財高裁判事) 清水節	ダブルトラック問題について	平成24年1月	65	1	111
第52回	前知的財産高等裁判所長・早稲田大学法科大学院教授 塚原朋一	キャッチボールの解消と訂正のあり方	平成24年2月	65	2	94
第53回	知的財産高等裁判所判事 高部真規子 弁護士・弁理士・NY州弁護士 大野聖二	涉外事件のあるべき解決方法	平成24年3月	65	3	95
第54回	(株)東芝知的財産部長 宮内弘 会員 高山裕貢	企業から見た望ましい紛争解決のあり方	平成24年4月	65	4	105
第55回	会員・弁護士 高見憲	特許権侵害訴訟最新判決紹介	平成24年5月	65	5	103
第56回	会員・弁護士 川田篤 弁護士 井上義隆	平成23年における特許審決取消訴訟の概況	平成24年6月	65	6	89
第57回	弁護士 高瀬亜富	平成23年著作権関係裁判例紹介	平成24年7月	65	7	98
第58回	弁護士 松永章吾 弁護士 日野英一郎	平成23年商標・不正競争関係事件の判決の概観	平成24年7月	65	7	110
第59回	主催 東京弁護士会	東京弁護士会知的財産権法部創部三十周年記念シンポジウム「特許紛争のより適正な解決の模索」前編	平成24年8月	65	8	123
第60回	主催 東京弁護士会	東京弁護士会知的財産権法部創部三十周年記念シンポジウム「特許紛争のより適正な解決の模索」後編	平成24年9月	65	9	90
第61回	日本大学大学院教授・一橋大学名誉教授 土肥一史	非伝統的商標の機能性と本質的価値	平成24年10月	65	10	84
第62回	知的財産高等裁判所長 判事 飯村敏明	商標関係訴訟—商標の使用等の論点を中心に—	平成24年11月	65	11	103
第63回	立教大学法学部・教授 上野達弘	著作権法における侵害要件の再構成—「複製又は翻案」の問題性—	平成24年12月	65	12	131
第64回	明治大学特任教授・東京大学名誉教授・弁護士 中山信弘	著作権法の憂鬱	平成25年1月	66	1	106
第65回	情報システム研究機構統計数理研究所 丸山直昌	インターネットドメイン名を巡る法律問題	平成25年2月	66	2	162
第66回	東京地方裁判所部統括判事 大須賀滋	複数関与者による特許権侵害	平成25年3月	66	4	96
第67回	北海道大学情報政策学研究センター長 田村善之	営業秘密の不正利用行為をめぐる裁判例の動向と法的な課題	平成25年4月	66	6	79
第68回	弁護士 白井太郎 会員・弁護士 湯浅知子	平成24年商標・不正競争関係事件の判決の概観	平成25年5月	66	7	142

第69回	弁護士 藤田晶子 弁護士 栗原喜子	平成24年著作権法関係裁判例紹介	平成25年6月	66	8	106
第70回	弁護士 曾我部高志	特許権侵害訴訟 最新判決紹介	平成25年7月	66	9	97
第71回	知的財産高等裁判所判事 塩月秀平	発明の要旨認定と技術的範囲確定 —リパーゼ判決を振り返る—	平成25年8月	66	10	99
第72回	会員・弁護士 川田篤 会員・弁護士 小栗久典	平成24年における特許審決取消訴訟の概況	平成25年9月	66	11	93
第73回	弁護士 牧野知彦	特許訴訟における技術説明会	平成25年10月	66	12	98
第74回	横浜地方・家庭裁判所川崎支部長 判事 高部眞規子	著作権法の守備範囲	平成25年11月	66	13	137
第75回	弁護士 高橋元弘	特許無効審判における口頭審理の実務	平成25年12月	66	14	175
第76回	北海道大学大学院・法学研究科・教授 田村善之	特許権侵害に対する損害賠償額の算定 —裁判例の動向と理論的な分析—	平成26年1月	67	1	125
第77回	東京大学教授 白石忠志	特許権と競争法をめぐる平成25年の状況	平成26年2月	67	2	105
第78回	知的財産高等裁判所長 判事 飯村敏明	特許権の均等侵害の成否に関する2, 3の論点	平成26年3月	67	3	128
第79回	弁護士 藤田晶子 弁護士 朴敬淑	平成25年商標・不正競争関係事件裁判例の概観	平成26年4月	67	5	108
第80回	弁護士 藤田晶子	平成25年著作権法関係裁判例紹介	平成26年5月	67	6	89
第81回	弁護士 曾我部高志	平成25年特許権侵害訴訟判決紹介	平成26年6月	67	7	75
第82回	弁護士・会員 井上裕史 弁護士 佐合俊彦	平成25年における特許審決取消訴訟の概況	平成26年7月	67	8	106
第83回	特許庁審判部審判課 審判企画室長 伏本正典	審判の現状と課題	平成26年8月	67	9	111
第84回	会員・弁護士 服部謙太郎 弁護士 中村閑	平成26年商標・不正競争関係事件の判決の概観	平成27年6月	68	6	95
第85回	会員・弁護士 平井佑希	平成26年著作権関係裁判例紹介	平成27年6月	68	6	113
第86回	弁護士 磯田直也	平成26年特許権侵害訴訟・裁判例紹介	平成27年7月	68	7	96
第87回	会員・弁護士 井上裕史 弁護士 佐合俊彦	平成26年における特許審決取消訴訟の概況	平成27年8月	68	8	129
第88回	知的財産高等裁判所所長 判事 設楽隆一	記載要件—実施可能要件とサポート要件との関係, 併せてプロダクト・バイ・プロセス・クレームについて	平成28年2月	69	2	93
第89回	知的財産高等裁判所第2部部総括判 判事 清水節	無効の抗弁と訂正の再抗弁の審理及び問題点について	平成28年3月	69	3	80
第90回	知的財産高等裁判所 第2部 判事 中村恭 知的財産高等裁判所 第4部 判事 柵木澄子	国際的な知財紛争の解決について	平成28年4月	69	6	112
第91回	会員・弁護士 服部謙太郎 会員・弁護士 小栗久典	平成27年商標関係・不正競争関係事件の判決の概観	平成28年6月	69	8	105
第92回	会員・弁護士 平井佑希	平成27年著作権法関係裁判例紹介	平成28年6月	69	8	122
第93回	弁護士 磯田直也	平成27年特許権侵害訴訟・裁判例紹介	平成28年7月	69	9	120
第94回	弁護士 井上義隆 弁護士 小林英了	平成27年における特許審決取消訴訟の概況	平成28年8月	69	10	96
第95回	特許庁審判部審判課審判企画室長 小野孝朗	信頼性の高い審判の実現に向けて —最近の動向と取組	平成28年11月	69	13	111
第96回	弁護士 原澤敦美 弁護士 川見唯史 (監修) 弁護士・前大阪高裁部総括 判事 若林諒	平成28年意匠・商標・不正競争関係事件の判決の概観	平成29年6月	70	6	68
第97回	弁護士・N Y州弁護士・証券アナリ スト 岡本健太郎	平成28年著作権法関係裁判例紹介	平成29年6月	70	6	84
第98回	弁護士 榎本高廣 弁護士 沖達也 (監修) 会員・弁護士・前知財高裁所 所長 塚原朋一	平成28年特許権侵害訴訟・裁判例紹介	平成29年7月	70	7	72
第99回	弁護士 井上義隆 弁護士 小林英了	平成28年における特許審決取消訴訟の概況	平成29年8月	70	8	129
第100回	会員・弁護士・前知財高裁判事 穴戸充	最高裁判例にみる商標の類否の本質	平成29年10月	70	10	46